

かわむらこどもクリニック NEWS

Volume 33 No 6

380号

令和 7年 6月 5日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255 HOMEPAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

入院-2025-

ご承知のように4月下旬から5月中旬まで病気療養のため入院し、皆さんには大変ご心配とご迷惑をおかけしました。NEWS5月号は休刊でしたが、6月号はなんとか発行することができました。

お陰様で入院も短期間で済み、特別な合併症もなく5月11日に無事退院することができました。休診に際しては皆さんにご心配とご迷惑をお掛けしたことを改めてお詫びします。病気療養での休診案内後、多くの患者さんから心配と励ましの言葉。それ以外にも手紙、カード、メッセージ（2面をご覧ください）、差し入れももらい、心を支える力強い応援になったことを心より感謝しています。SNSでのメッセー

院長



ジにはこう返信しました。「メッセージありがとう(^-^)/大丈夫何もなかったように、いつもの「かわむら先生」で戻ってくるから。だってこんなに元気だから。こんなメッセージが最高の励みだよ！みんなに支えられてる証拠だからね。そして応援ありがとう(^-^)/」

今回の経緯について簡単に紹介します。今年息子が在宅医療診療所を立ち上げることもあり、3月末に仙台オープン病院で1泊2日の人間ドックを受けました。内視鏡検査の結果で胃がんが疑われました。その後の診察と様々な検査によって早期がんのレベルは過ぎていたのですが、幸い転移は見られませんでした。できる限り休診を少なくと考えて、4月25日に入院、28日に腹腔鏡での手術となりました。手術2日前にはわがままを言って外出許可をもらい、最後の晩餐ではありませんがうなぎをお腹いっぱい食べることができました。食べ物ネタになりますが、入院を知った狗ちゃんから「今のうちしっかり食べて」と鰯の差し入れをもらい嬉しくて涙が込み上げてきました。



入院後は術後のスムーズな回復のため、できるだけ多く歩くことにしました。ちょっと欲張って駐車場まで歩いていたら警備員に叱られてしまう笑い話のようなエピソードもありました。さて手術日当日になり、手術場に向かう時には患者さんからもらったお守りメダルを首に下げて臨みました。その後の記憶は全くないのですが、痛みはありましたが手術翌日には立つことができ。それ以降は比較的順調で、2日目からはリハビリ歩行を始めることがで

きました。術後1週間後には連日4千歩と階段10階分をノルマにリハビリに励みました。そんな努力の甲斐もあり術後10日には退院許可が出て、最短の2週間で退院することができました。



全く別な話になりますが、入院したオープン病院登録医幹事を長年務めている関係から、多くの知り合いが病院の中にいました。仙台市医療センター理事長、オープン病院院長も病室に足を運んでくれました。他にも病棟師長の友人が当院のかかりつけだったり、病棟主任の医療相談に乗ったり、同性の看護師と河村城祭りで盛り上がったり、かかりつけのお母さんが放射線技師で話に来てくれたりと楽しい時間を過ごすことができました。会話しているだけでもちょっとした苦痛は嘘のように影を潜めます。そんな意味でも縁のありがたさを感じ、支えてもらった多くの人たちに感謝感謝です。

5月12日から診療を始めましたが、最初はなかなか仕事についていけません。でも不思議なことに患者さんと話しているときは疲れを感じませんが、診療が終わるとどっと疲れが襲ってきます。病は気からではありませんが、病気のことで他に集中するものがあれば忘れられるということなのでしょう。退院後の病院通いもあり、休養日を作るため当面の間は木曜日を休診にしました。

入院、療養でご迷惑をおかけしたにも関わらず、復帰後も多くの患者さんからお祝いや心配の言葉を頂きました。メッセージを寄せてくれたり、お祝いを持ってきてくれたり、中には涙を見せて喜びを伝えてくれる患者さんもいました。診察でもないのに診療再開日に遠くからわざわざ退院祝いを届けにきてくれたのにはとても嬉しく思いました。本当に多くの人たちに支えられていることを改めて感じることができました。



こんな多くの患者さんから思いを寄せてもらえることは、小児科医冥利に尽きる幸せ者であることも改めて感じています。こんなに頼りにしている患者さんがいるので、もうしばらく頑張らなくちゃと思っています。

改めて人生に於いて大切な、時間と縁を学ぶいい経験になりました。この経験を今後に活かしたいと思います。本当にありがとうございました



『かわむらこどもクリニックLINE公式アカウント』

登録よろしくね！！ <https://lin.ee/GefJT90>(2面にQRコード)

読者の広場

今月は入院と退院に際し、メール・LINE・Facebook・Messengerから50件を超えるメッセージをもらいました。全てを紹介することはできないので一部を紹介します。

入院前：「かわむら先生、いつもお世話になっております。千葉〇〇の母です。LINE拝見し、私、夫、〇〇、〇〇心配しております。いつも子供達のことを1番に考えてくださり、時には私の心配までしてくださり、ほんとにありがとうございます。川村先生、どうか療養に専念されてお体大事にしてください。そして元気にお会いできること楽しみにしております。」「川村先生、こんにちは！布施〇〇の母です。先日はインフルエンザで診て頂き、ありがとうございました。〇〇はすっかり元気です。お元気そうに見えた先生の休診のお知らせに驚きましたそして、明日の自分の仕事予定を確認していたら、更に驚き。明日、術前検査でオープン病院にいらっしゃるのですね当院では、消化管バリウム検査は放射線技師が行うのですが、実は明日の担当は私なのです。お世話になっている先生の検査、責任を持って務めさせていただきます！よろしくお願い致します。」「こんばんは遅くにすみません。ご無沙汰してます…いつも元気な先生なので療養との事でびっくりしました！お身体大丈夫ですか？長く親子共々お世話になっていて、まだまだこれからもお世話になる予定です。余計なお世話かも知れませんが、いつも忙しくしてる様なのでこの機会にゆっくり休んで元気になってください。」「先生、LINE見ましたあ心配です…先生ずーっと働きすぎだったから、お身体大事にしてください。」「ご無沙汰しております。安達〇〇です（〇の母です）。溶連菌になりやすくお世話になっていた難は28歳になりました。先生には随分お会いしていないので、体調が良くなかったこと知りませんでした。一日も早く元気に復帰して頂けますように。頑張ってください！」「ご無沙汰しております。八木と申します。24年も前になりますが、在仙中は息子と娘が大変お世話になりました。2007年に仙台を離れ、現在は和歌山県で暮らしています。2年前に両親の墓参りのため帰省した際、クリニックの前を通りました。お盆期間でクリニックはお休みでしたが、2人はしっかりと覚えておりました。車を降りて、東照宮、当時通っていた幼稚園や小松島小学校、児童館を見て懐かしんでおりました。息子が小松島小学校に就学する前に気になることを相談し、話を聞いていただき不安が薄らいだこと、市の発達相談支援センターを紹介していただき、息子の未来のために頑張ろうと思ったのは、先生はじめクリニックのスタッフの皆様のおかげです。本当にありがとうございました。息子は10歳の時から服薬治療を受けるようになり、その後沢山の方との素敵な縁があり、助けられて高校を卒業、紆余曲折ありましたが、現在は障がい者枠で一般企業に就職し彼なりに頑張っています。障害年金の受給にあたり色々調べていた際、息子がクリニックの話をしていたので、懐かしく思いメールした次第です。先生、どうぞご養生ください。これからもこどもたちの治療と、たくさんの親御さんの不安の解消を頑張ってくださいね。遠くはなれた和歌山から心より応援しております。」「川村先生 お世話になっております。大沢〇〇の母です。先生が病氣療養なさると知り、お見舞いを申し上げたくこちらを利用させていただきました。先生と最近お会いしたのは2月でお元気な様子だったと記憶しております。療養を経て元気な川村先生にお会いできる事を、楽しみに切に願っています。フレーフレー川村先生！！」

退院後：「かわむら先生、退院おめでとうございます、ほんとに良かったですもう診察開始なんですね先生の体調を第1で考えてくださいね」「入院生活お疲れ様でした！体調無理せずにお過ごしくださいまたこどもたち共々お世話になりますので、よろしくお願い致します！」「いつもお世話になっております。中野〇〇の母です。先生退院おめでとうございます！退院してすぐに診療開始なんて、川村先生はいつもお忙しく、体調不良にならないとこんなに長期間お休みできることはないと思うので本当はもっとゆっくり療養してほしい気持ちですが、先週から〇〇も熱発しており、行く病院が別の病院であることに二人とも嫌がっていたので、やっぱり患者にとってかわむらこどもクリニックの診療再開は本当にありがたいです。」「無事に退院できて良かったです。こんばんは久しぶりの診療、いかがですか川村先生にすぐに会いたところですが、まだ便秘のお薬沢山あるので…月末か、来月あたまでまた貰いに行きます」「こんばんは！退院おめでとうございます。本当にもう診療再開するんだと驚きましたが、先生のことを待っている子供達、子供以上に待ちわびているお母さん達がたくさんいますもんね。無理せず過ごして下さいね。病氣は喜ばしくないことですが、私は先生とゆっくりお話しできて、楽しい時間でした。ありがとうございました今月もまた凜〇〇とお薬もらいにお邪魔します！」「いよいよ退院なのですね。良かったです！小児科難民になっていたママたちがとても待っています。無理なさらずに。。。復帰をお待ちしています。」「先生に会ったら泣いちゃうかも…と思っていましたが(笑)、母もいたので、大丈夫でした。復帰すぐにお会いできて良かったです。無理なさらずに…子ども達も写真見て、喜んでました！」

紹介しきれないくらいたくさんのメッセージをいただき、転居した患者さん、大人になった患者さんからも届きました。クリニックと院長を気遣う温かい気持ちがしっかりと伝わってきます。載せられなかった人も含めた全ての人たちに感謝とありがとうの言葉を伝えます。励ましの応援カードなどを紹介するコーナーを作りました。こちらもぜひご覧ください。

【重要】休診のお知らせ

5月29日から当面の間木曜日休診となります。

体力が戻っていないこと、加えて不定期な病院受診もあり、皆さんにご迷惑をお掛けすることを心配しています。よろしくご理解とご協力をお願いいたします。

Facebook LINE の紹介

Mail News、LINE は 1000 人を越えるお母さんが登録し利用しています。新HP (QR) では問い合わせと相談も可能になりました。Messenger、LINE (QRから) も合わせてご利用ください。不明な点は受付まで。



HomePage



Facebook



LINE

発熱外来のご案内

発熱で受診される方は、来院前に電話して指示を受けてください。発熱外来専用入り口を案内します。

編集後記

まさか、がんが見つかるとは思っていませんでした。逆な見方をすれば症状がないうちに見つかった良かったと思うしかありません。プレゼントや差し入れ、カードやメッセージを、こんなにもらえるのは私だけかも。温かい気持ちに応えるのは、病氣に立ち向かい診療を続けることだと思っています。感謝！！



K's clinic

世界各国で麻しんが流行しています

『1才のお誕生日に麻しん風しん混合ワクチンを！』